

令和6年度

施政方針

5年度は「第7次池田市総合計画」の

初年度として、

さまざまな施策を

より効果的に進めるべく、

人と人とのつながりを大切にし、

一つ一つの声を受けとめながら、

持続可能なまちづくりを

進めてきました。

6年度は本計画の2年目となり、

この想いはそのままに、

さらに取り組みを進めることで、

本計画のキャッチフレーズである

「『だったらいいな』を叶えるいけだ」

に向けてまい進していきます。

重点テーマ

1 女性活躍を牽引する取組の推進と教育・子育て支援のさらなる充実



女性が一層活躍できる社会の実現をめざして、女性が働きやすい職場環境の構築に率先して取り組むとともに、多様な働き方・生き方の支援に努めます。また、物価高騰対策として、子育て世帯の負担軽減に向けた取り組みを進めます。

2 「大阪・関西万博」開催に呼応したまちづくりの推進



目前に迫った「2025年大阪・関西万博」の開催を好機と捉え、多様な主体との連携や地域活性化に向けたシティプロモーションなどに取り組み、「まちづくり人口」の拡大に努めます。また、万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」と重なる取り組みを推進し、市民のウェルビーイングの実現をめざします。

主要施策

価値を高め発信するまちづくり

「環境共創」のまちづくり

「地球温暖化防止実行計画(区域施策編)」を策定し、温室効果ガス排出削減を推進します。また、太陽光発電設備や家庭用蓄電池設備の補助制度について、両設備の同時設置者に対する家庭用蓄電池設備の補助金額を増額します。

クリーンセンターについては、今後も安全で安定したごみ処理が行えるよう、維持管理に努めるとともに、次期施設整備を見据えた基本構想の策定を進めます。

緑化の推進については、地域での花いっぱい運動の支援を継続するとともに、五月山ハイキングコース付近の森林を整備するなど、安全な環境の確保や良好な景観の維持に向けた森林保全を図ります。



地域特性を生かしたまちづくり

細河地域では、スマート農業と農福連携の推進に取り組むとともに、「BOTAFES」の開催など、地域特性を生かした取り組みを推進します。また、地域拠点づくりについては、官民連携コンソーシアムによる取り組みを継続します。

池田駅周辺では、駅南側の再整備を進めるとともに、駅北側の将来的な再整備に向けた検討を進めます。また、地域や企業と連携しながら、コミュニティセンター跡地を活

用した社会実験を実施し、「歩きたくなるまちなか」の実現に向けて、「おさんぽマルシェ」の開催など、官民連携のエリアプラットフォームによるまちづくりに取り組みます。

石橋阪大前駅周辺では、まちづくり協議会の活動への支援に努めるとともに、官民連携による事業の実施に向けた検討を進めます。

都市活力の維持と活性化

創業者への支援や多様な働き方が実現できるいけだピアまるセンターの運営について、多くの方にご利用いただけるように努めます。また、新規就農者に対する経営開始時の支援により、担い手不足の解消を図ります。



シティプロモーションの展開

シティプロモーションブックを活用した情報発信や本市の魅力の伝え手を増やすためのワークショップの開催に加え、ウォンバットの魅力を押し出した取り組みを推進します。

観光の推進については、「2025年大阪・関西万博」の開催による来訪者の増加が予想されるため、「食」を楽しむ環境づくりに取り組むなど、回遊性の向上による市内滞在時間の増加をめざします。

子どもと大人の未来を育てるまちづくり

子ども・子育て支援の充実

卵子凍結保存に係る費用の一部を助成することで、ライフスタイルの多様化に応じた、一人一人の妊娠の希望や考え方を尊重し、適切な自己決定を支援します。母子保健や児童福祉については、「子ども未来課」を新設し、子育て家庭などに対して包括的で切れ目ない支援に努めます。

発達障がい児の方への支援については、やまばと学園に相談支援専門員を配置し、相談機能の強化を図るとともに、老朽化した同園と古江保育所との一体的な建替えも視野に検討を進めます。

子ども医療については、18歳までの子どもを対象とした医療費助成を継続し、子育て世代の医療費負担の軽減と子どもの健全な育成に努めます。



保育士については、人材確保や職場環境の改善などの取り組みを推進し、質の高い保育を提供できるよう努めます。

留守家庭児童会については、石橋小学校・北豊島小学校に新たに施設を建築するほか、その他の小学校でも環境を整備します。

学校教育の充実

「池田市教育大綱」について、教育ニーズの変遷や「第7次池田市総合計画」を踏まえ、8年ぶりに改訂を行います。

学校施設については、「池田市学校施設の長寿命化計画」に基づき、今後の具体的な更新計画を策定します。

給食費については、6年度上半期に、小・中学校と義務教育学校での無償化を実施します。また下半期においても継続実施することに向けて、財政状況を踏まえた財源措置を検討します。



生涯学習の推進と郷土愛の醸成

図書館システムの更新による利便性の向上や、電子図書館の利用拡大を図ります。また、くれは音楽堂については、耐震補強工事のほか設備の更新も併せた設計を行います。

文化・芸術・スポーツ活動の推進

文化・芸術・スポーツにおいて功績のある市民に奨励金を交付します。また、多様な文化事業に取り組みます。

主要施策

いきいきと暮らし続けられるまちづくり

人権と多様性を尊重するまちづくり

女性が自身のライフステージに合わせて生き方・働き方を考えることができる機会を提供するため、人材育成、伴走型の就職支援、「フェムケア」に関するセミナーなどを実施するとともに、男性の育児と家事の両立を応援する「パパセミナー」を実施します。また、外国人市民が主体となって地域の市民と交流できるような事業を充実させ、多文化共生社会の推進を図ります。



高齢福祉の充実

敬老会館とその周辺施設については、「地域のリビング」として世代を超えた人々が気軽に立ち寄り、学び合える多世代交流を実現する地域の拠点施設として整備を進めます。地域包括ケアシステムにつ



いては、適切なサービスや機関へつなげられるよう、地域包括支援センターの機能の充実を図ります。

高齢者の介護予防については、保健事業と一体的に実施し、イベントを通じた健康に関する意識の場や、高齢者の社会参加を促し、住民主体の通いの場の創設に取り組みます。

障がい福祉の充実

それぞれの障がいに適した福祉サービスなどの提供体制の充実を図り、就労の場の確保、就労を継続するためのサポート体制の確立など、雇用機会の拡大に努めます。

保健・医療の充実

国民健康保険事業について、特定健康診査および特定保健指導の実施率の向上をめざすとともに、健康に対する意識の啓発、生活習慣病の発症・重症化予防に努め、被保険者の健康づくりを強化します。

後期高齢者医療保険事業について、地域における健康計測会、介護予防教室などで健康教育や健康相談を実施し、健康診査受診率の向上を図ります。また、糖尿病性腎症重症化予防事業や高血圧・心疾患重症化予防事業を実施し、健康寿命の延伸、医療費適正化に取り組みます。

快適さを実感できる安全・安心なまちづくり

「危機への備え」の充実

防災意識の向上をめざして、自主防災組織や関係機関との連携による「いけだ防災フェア」を実施します。

既存民間建築物の耐震については、木造住宅の耐震診断、設計・改修、ブロック塀などの除却費用への助成を行い、耐震化を進めます。また、災害時における避難所の衛生的な環境の確保に向けて、池田小学校にマンホールトイレを設置し、これを指定避難所へ順次整備していきます。

消防・救急体制については、高規格救急自動車の増車や消防職員の増員を行い、救急需要に対応するための体制を構築します。また、「豊中市・吹田市・池田市・箕面市・摂津市」の5市で構成する北大阪消防指令センターの運用を開始します。



快適な住宅・住環境づくり

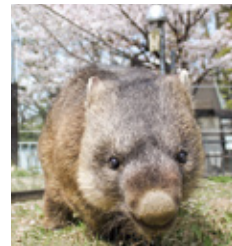
市営秦野住宅について、住宅需要などを踏まえ今後の方向性について検討します。

公園・緑地の利活用については、遊具などを更新しつつ、公園施設の老朽化や倒木への対策、法面保護工事などに取り組みます。

五月山緑地については、官民連携によるカフェ・レストランなどの導入に向けた取り組みを進めるとともに、歩行者

空間の確保や環境負荷の軽減を図るため、「さくらプロムナード」の再整備を進めます。

五月山動物園については、新たなウォンバットの受け入れを進めます。また、施設のユニバーサルデザイン化を行いつつ、動物たちの魅力をより発信できるよう、リニューアルに向けた準備を進めます。



市営墓地については、五月山霊園内に合葬式墓地の建設を進めます。

道路・公共交通の充実

道路舗装や交通安全施設の補修・再整備に取り組み、安全・安心かつ快適な道路交通を確保します。また、本市の交通ネットワークの現状を踏まえ、既存公共交通の利用促進に取り組むとともに、円滑な消防・救急活動が行えるよう、狭あい道路の解消に取り組みます。

上下水道の充実

「池田市第2次上水道施設整備計画」に基づき、水道管の更新や耐震化など、危機管理体制の充実と既存施設の更新を図ります。また、下水処理による公衆衛生の確保、公共用水域の水質保全のため、下水道管、下水処理施設などの更新、耐震化を計画的に実施し、省エネや温室効果ガスの低減を推進します。

まちづくりの進め方

「まちづくりの進め方」とは、第7次池田市総合計画の施策において、意識すべき3つの視点です。

1. SDGsの推進

「池田市SDGs推進プラットフォーム」を起点とした、多様な主体間の情報共有、取り組みの連携、新たな価値の創出をめざします。



2. みんなで取り組むまちづくり

地方創生の取り組みを加速すべく、さまざまなステークホルダーとの意見交換を重ね、「第2期池田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂を進めます。また、企業・大学などとの連携について、「2025年大阪・関西万博」のテーマに沿った事業をはじめ、市民や社会のニーズに即した新たな取り組みの創出に向けた検討を進めます。

地域分権制度の推進については、「池田市地域ビジョン」をもとに地域の各団体との連携の強化を図り、各地域の特性や抱える課題を把握し、市民の自主性・自立性を尊重したまちづくりの推進に向けて取り組みます。

公益活動の促進については、市民活動交流センター

を拠点として、市民の多様な活動を促進するとともに、自治会など地域団体やNPOへの助言と相談対応を行います。また、公益活動助成金を交付し、公益活動のさらなる活性化や活動主体の自立を図ります。

3. 持続可能な都市経営

デジタルトランスフォーメーション(DX)について、市民サービスや行政内部のDXをさまざまな施策で実現すべく、課題の発見と解決に向けた取り組みを推進します。

契約事務では、電子契約システムを導入し、対応可能な事務から段階的に電子で契約締結し、事業者の負担軽減とともに、職員の事務処理の効率化につなげます。

公共施設の利用予約では、オンラインの手続きを可能とするシステムの導入を進め、利用者の利便性向上を図ります。

公立保育施設では、現金徴収をしている一時預かり保育利用料に、キャッシュレス決済を導入します。

職員の育成については、計画的に研修を実施し、職員に求められる知識やスキルの習得とその能力発揮による組織の活性化を図ります。また、女性が働きやすい職場環境の構築をめざし、ジェンダーについての意識向上や相互理解を促す取り組みを実施します。加えて、休業・長期休暇取得者に対するフォローアップや復帰後のアフターケアに関する取り組みの充実を図ります。

公共施設などのマネジメントについては、市民ニーズや財政状況などを踏まえながら、「池田市公共施設等総合管理計画」などにに基づき、施設の総量や維持管理経費の最適化に向けた計画を策定します。

本市に関わる一人一人が自分らしく輝くことこそが、豊かな池田のまちを形づくってゆくものと信じ、その実現に向けて市長として先頭に立ち、時代の変化を的確に捉え、何事にも前向きに挑戦します。

令和6年2月28日

池田市長 瀧澤 智子

瀧澤市長が施政方針演説を行いました。
詳細は市ホームページや行政情報コーナーでご覧いただけます。
問 政策企画課 ☎754・6213

